

経営比較分析表（令和6年度決算）

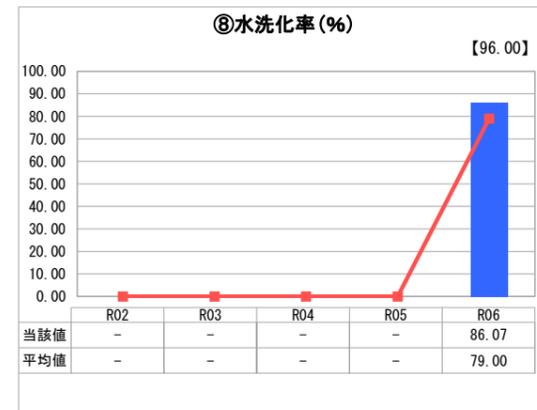
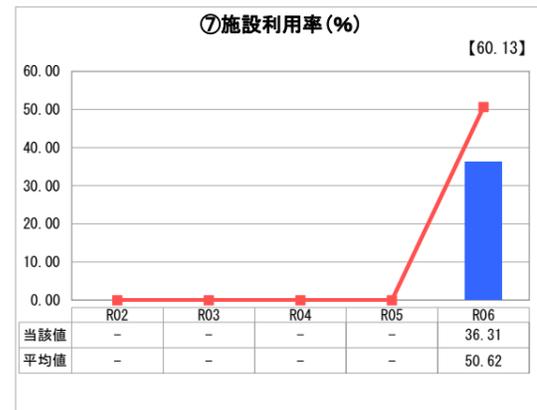
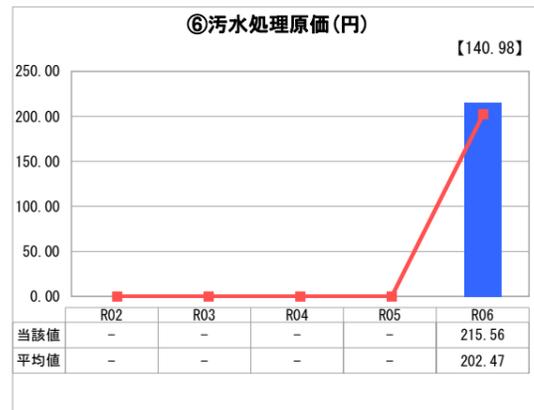
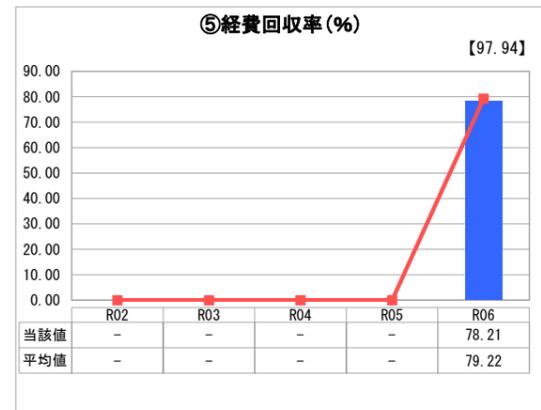
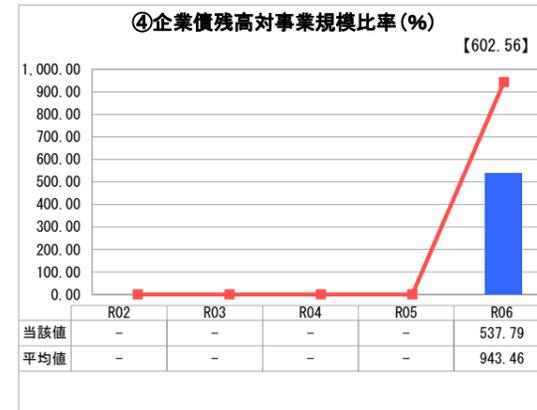
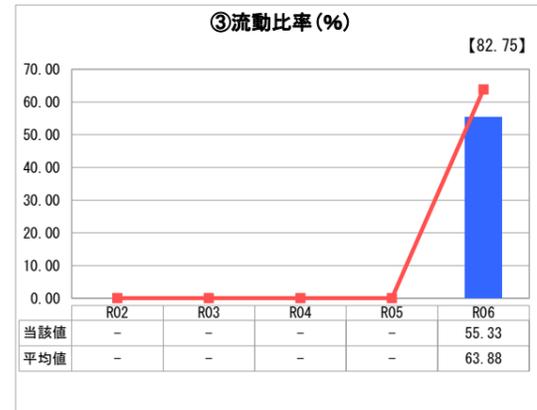
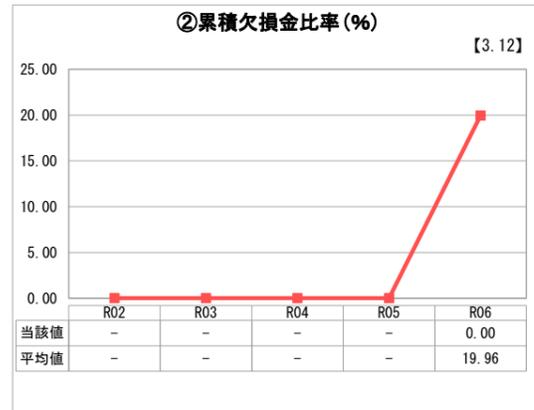
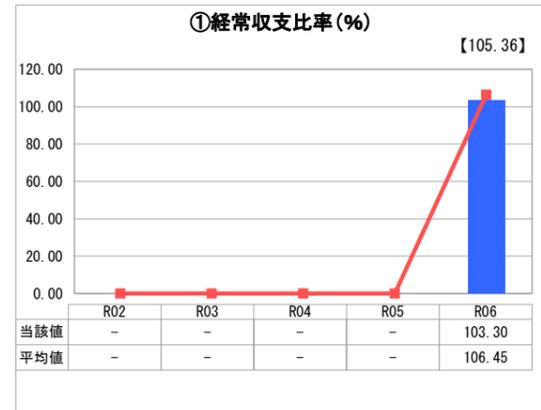
佐賀県 みやき町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	59.20	29.37	100.00	3,850

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,773	51.92	496.40
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,545	2.44	3,092.21

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本事業は、平成18年6月から供用開始しており、令和7年度に全体計画の見直しをし、全体計画面積を345.2haとし令和14年度に整備を完了する計画である。令和6年度末において243.8haを整備しており、整備率は70.6%である。
平成17年3月の市町村合併により公共下水道事業と特定環境保全公共下水道事業との2事業を行っており、分析上、按分している。

① 経常収支率について
令和6年度は類似団体平均値とほぼ同程度の数値となっている。営業収益で営業費用をまかないきれず、営業外収益で補っている状況となっている。今後は企業会計決算をもとに営業収益の増加に向けて対策を講じる必要がある。

③ 流動比率について
令和6年度は類似団体平均値と比べて下回っている。企業債の償還財源として一般会計からの繰入金に頼っている状況である。

④ 企業債残高対事業規模比率について
令和6年度は類似団体平均値と比べて大幅に下回っている。下水道整備が未完であることが要因と考えられる。

⑤ 経費回収率について
令和6年度は類似団体平均値とほぼ同程度の数値となっている。それでも使用料収入が不足しているため、今後は、必要な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要となる。

⑥ 汚水処理原価について
令和6年度は類似団体平均値とほぼ同程度の数値となっている。今後も効率的な汚水処理を行っていく。

⑦ 施設利用率について
令和6年度は類似団体平均値と比べて下回っている。今後は使用者の増加に伴い、施設利用率は上昇していく見込みである。

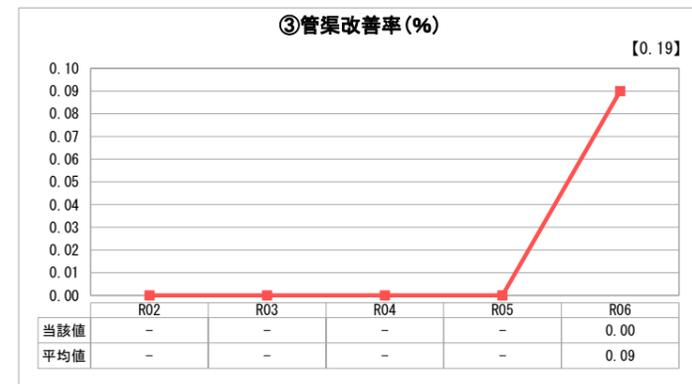
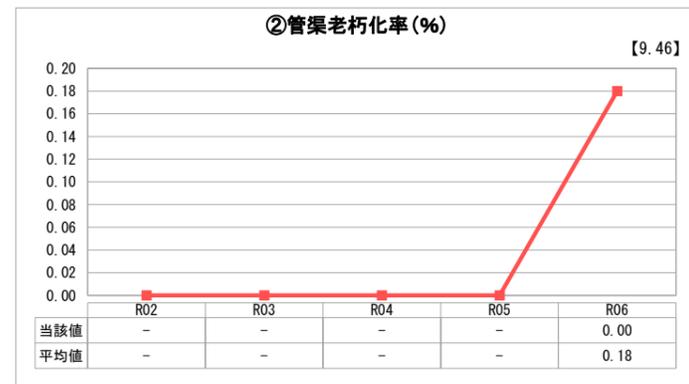
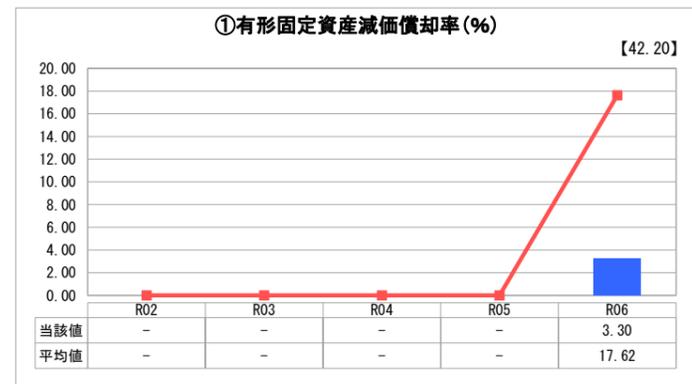
⑧ 水洗化率について
令和6年度は類似団体平均値と比べて上回っている。引き続き下水道整備及び水洗化を進めていく。

2. 老朽化の状況について

平成18年の供用開始から19年目であり老朽化対策については実施していないが、処理施設のポンプ等の機器については、定期的にオーバーホール等の修繕を行っている。

今後はストックマネジメント計画(簡易版)に基づき管渠や処理場施設の機器類について、定期的な点検や調査を実施し、大規模な改修に陥らないように計画的な修繕を行っていく、安定した経営を継続していく。また、ストックマネジメント計画(簡易版)についても今後、見直しを行う予定である。

2. 老朽化の状況



全体総括

本事業の経営は安定しておらず厳しい状況である。使用料収入は下水道整備に伴い増が見込まれるが、近年の人員費の増や物価高騰に伴う営業費用の増の影響で一般会計からの繰入金に頼らざるを得ないのが現状である。

しかし、公共下水道が整備完了していない中で、本事業の使用料の値上げは困難が見込まれる。

今後、公共下水道の整備をさらに加速させていくこと、整備がある程度目途がたった段階で速やかに適切な使用料が提示できるように準備を行うことが必要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。